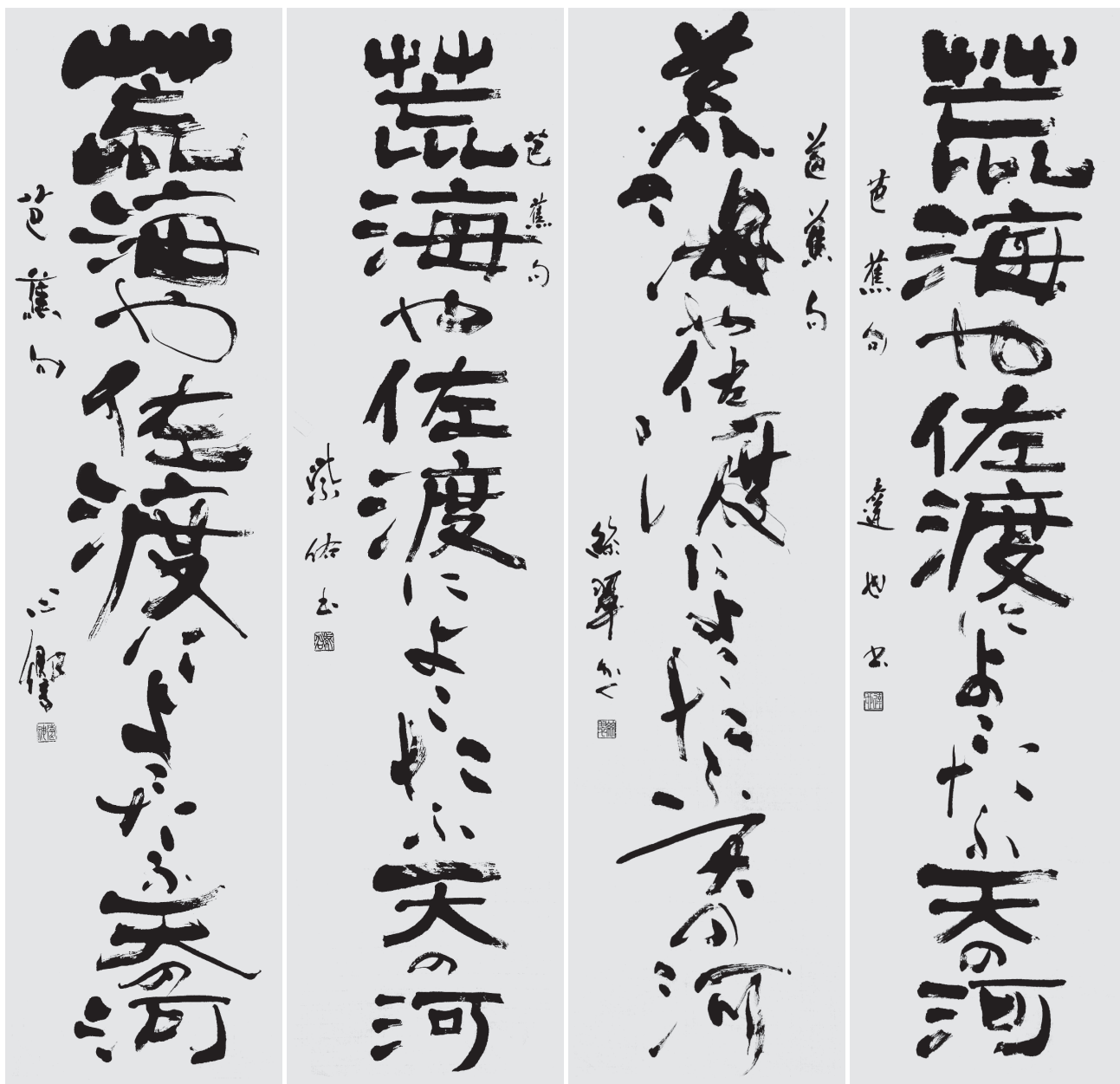


葛西玄涛先生選評



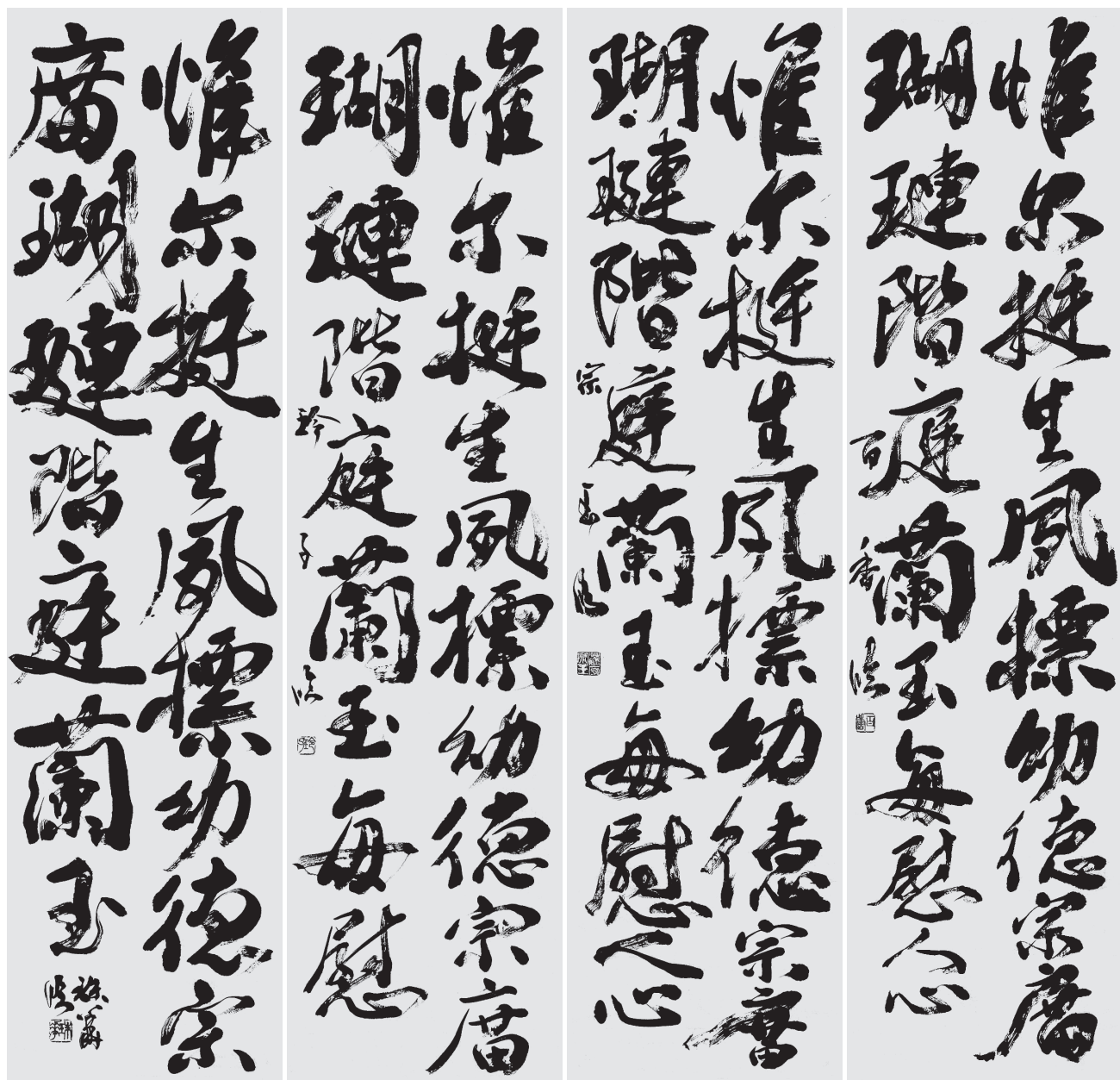
今 達也 推選
墨をたっぷり含ませた藏鋒の強い直線で表現した漢字がどつしりと正面を向き、心を打つ。仮名の起筆も落筆を高くし、軽い藏鋒として、漢字に負けない強さだ。

香川 絲翠 推選
主題は、日本海の情景と定め、活発に筆が走っています。荒波を鎮めるような渴筆の織り交ぜに筆法技術の高さが見られます。紙面に感情が表出して、大迫力だ。

菜嶋 紫佑 推選
鷗亭先生に近い清楚で品のよい字形は、心を和ませていただけます。それぞれの線が、ゆっくり丁寧に引かれていて素晴らしい。長い線でも同様な安定感が最高。

近藤 心響 推選
良い破天荒です。この激しさを紙面の中で収めたことに感動します。荒い線であっても遠くへ筆を運ぶ動きから、限りなく伸びていく線を演出しました。名作だ。

高野清玄先生選評



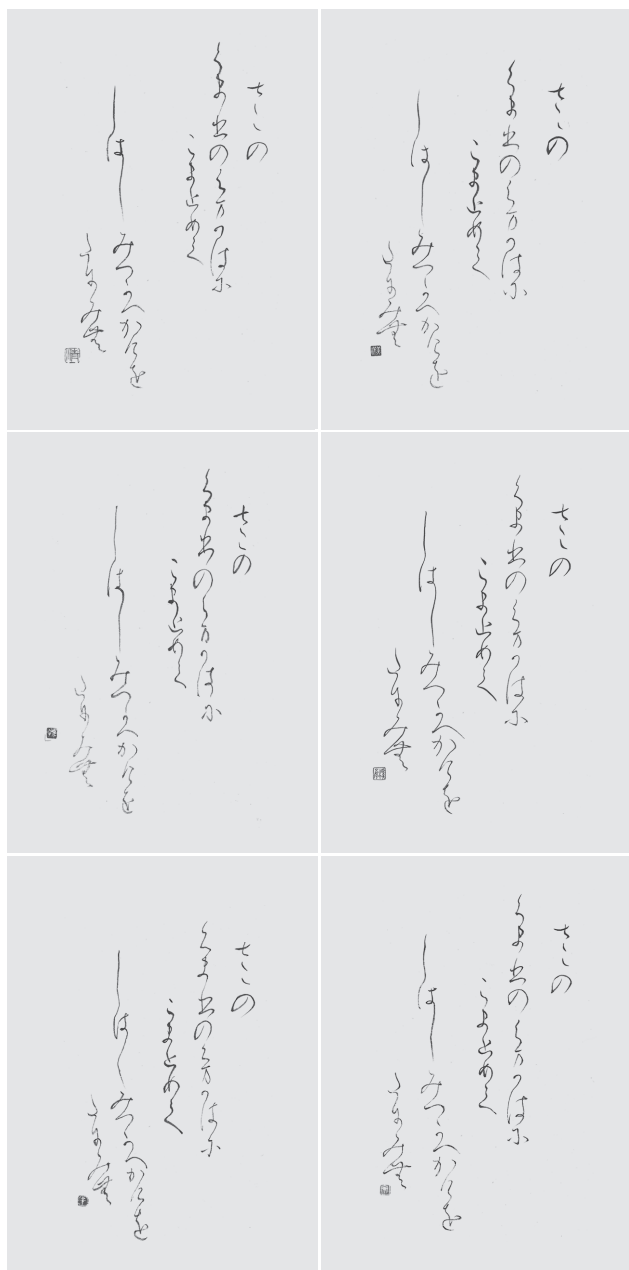
大竹百香 推選
羊毛筆での渴筆の効果が素晴らしく、躍動感溢れる生き生きとした作品に書き上げられた。「瑚」で墨継ぎせずに「階」での滲みがあれば良かった。リズムに乗った玉作。

藤原宗玉 推選
線にねばりがあり、紙面に筆が深くくい込み、重厚感ある。そこに軽い線も交えて線の強弱による立体感を表現できている。巧みな筆遣いで自然な流れが良い。

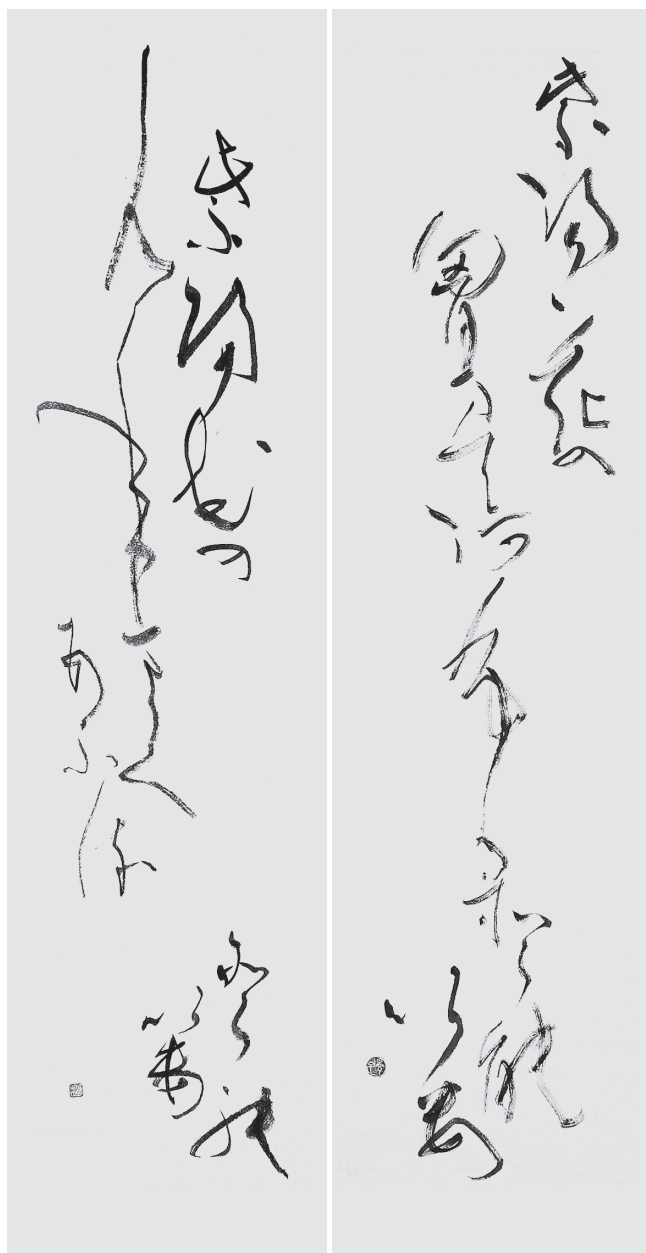
岡野玲子 推選
筆の握り方が良いのか手首が柔らかいのか運筆に硬さが見えない。ゆったりとした動きの中に筆の上下動抑揚があり、筆毛が開閉自在となり生命の呼吸を感じる。

阿山珠華 推選
もう何度も臨書されているのだろう。暗記されたものが自分の中で再構築され紙面に吐露されている。原帖から脱出して独自の作品だ。ハネ連綿の細線が気になる。

吉澤真理先生選評



佐々木優子先生選評



松嶋清苑 八段
浮沈を効かせた躍動感ある明るい筆線。最後まで気持ちよく書かれています。一行目と二行目「の」の位置がそろったのが惜しい。

小松靖子 準七
大らかな筆線で、自分の世界を創り上げています。連綿線に硬さがみられます。リズムミカルな筆運びで、優雅な感じが欲しい。

富永美祥 師範
文字の姿美しく、筆線も温雅で古筆の世界をよく表現されています。リズムに乗った運筆は、抑揚があり潤渇の変化が心地良い。

林 溪舟 師範
よく習練された字態と連筆のたしかなで堂々の作です。圧のかかった線が加味されるとメリハリがつき、一層練度の高い作に。

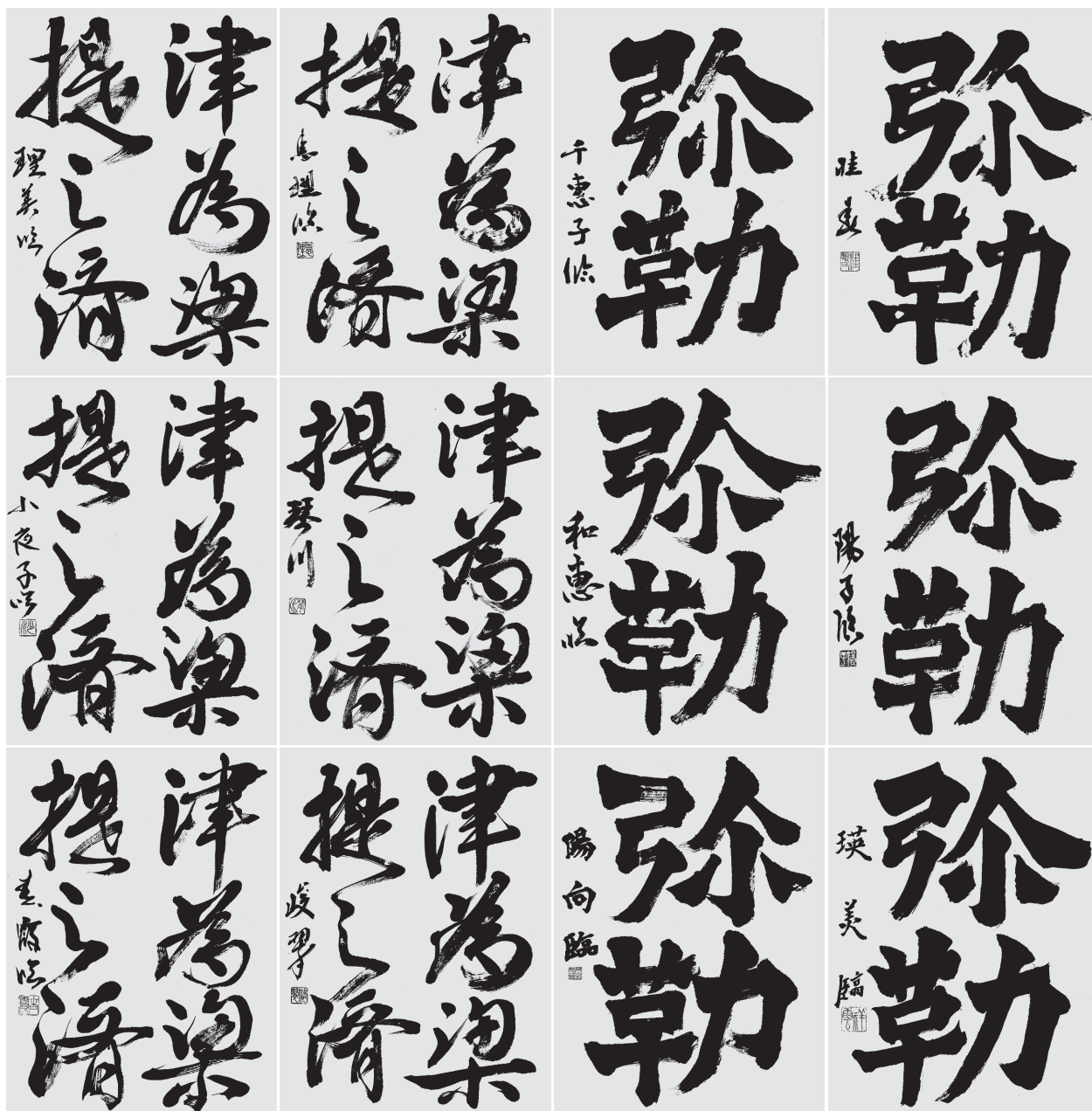
中嶋イチ子 五段
抑揚、緩急の変化が快く、瑞々しく伸びやかな線条に好感です。行間の変化にも留意されると更に魅力ある作に。

鈴木良子 準師
字間、行間に心配りがあり、紙面の捉え方も的確です。線条にゆえがあり、特に渇筆部の動きのある連綿線の移ろい素敵です。

落合梢薫 推選
落筆高く伸びやかな線質で、淡い墨色も相俟って立体的に空間を据えた作品です。筆の開閉を巧みに使い、上部の行の響き合いが素晴らしい。

久世晃子 推選
先ず末尾「いろ」がよい佇まいです。二行目の渇筆が更に引き立てています。潤渇が自然でリズムにのり書かれていて余白を良く考えられた作品です。

江幡太璫先生選評



高堂桂春 師範
字間もう少し空け
ば良かったが、筆
力、筆遣い、墨量
申し分なし。素晴
らしい鄭長猷造像
記です。この調子
で今後も多いに期
待します。

金子陽子 八段
「勒」の二つの点を
離れたかったのと
印がもう少し大き
くても良かったか。
後は前者同様、起
筆力強く勢いあり
大きさも丁度いい
と思います。

原 瑛美 準六
筆力、気合い充分
で重厚感素晴らし
い。各字の中に一
く二本でいいので
少し渴筆が入ると
明るさが表現でき
たかと思えます。
名前と印の違いは
？

熊本千恵子 準四
羊毛を見事に遣い
こなし程良い渴筆
が明るさを表出し
ています。準四段
？素晴らしい！益
益のご活躍心より
期待致します。印
が欲しい所です。

信田和恵 準四
貴女も準四段すご
いですね。逆筆も
心得っており筆力充
分です。つき上げ
も最後まで気持ち
行き届いています。
字間が欲しかった
かな。

松田陽向子 初段
鄭長猷のアンバラ
ンス？とほけた？
表情見事に表現し
ています。豪快で
力強さ抜群です。
印が小さいですね。
高田先生彫ってあ
げて下さいね。

浅野恵理 師範
リズム良く、抑揚
抜群で線良し、大
きさ良し、筆良し
文句なし！願文に
迫る筆遣いはよく
臨書をした成果で
す。流石です。

渋谷琴川 準師
潤濁が出しにくい
半紙残念です。や
はり抑揚良くリス
ム良く、意先筆後
が良く伝わってき
ます。半紙の選択
相談してみても下
さい。

松本峻翠 七段
やや大きい伸び
やかで気持ち良く
書けています。願
文の太細、特に細
い線が作品を明る
くし効果的です。
筆のかえしもいい
ですね。

稲田理美 五段
大小、潤濁良く、
特に「提」の動き
の大きさ、リズム、
渴筆眼を瞞るもの
があります。「済」
のうねり抑揚がも
つと欲しかったの
とやはり印が欲し
い。

浅野小夜子 三段
手首、握り柔らか
く筆のひねり返し
が見事で太細、軽
重も良く表現でき
ています。連綿線
で弱くなりがちで
すが太く力強い
と思います。

野々村春霞 三段
師範でもおかし
くないくらい素晴
らしい腕前です。
しいて上げるとす
れば墨量の変化で
しょうか。脱帽で
す。